

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	特定疾患治療研究費補助金			担当部局庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	昭和47年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	結核感染症課 難病対策課			課長：浅沼 一成 課長：平岩 勝		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	特定疾患治療研究事業について					
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号。以下「難病法」という。)に基づく医療費助成制度が平成27年1月1日から施行されたことに伴い、難病法の施行前に特定疾患治療研究事業で対象とされてきた特定疾患のうち、難病法に基づく特定医療費の支給対象となる指定難病(難病法第5条第1項に規定する指定難病をいう。)以外の疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、その医療費も高額であるため、特定疾患治療研究事業を推進することにより引き続き当該患者の医療費の負担軽減を図る。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	①特定疾患治療研究事業【補助率 1/2、10/10】 ②スモン患者に対するはり等の治療研究事業【補助率 10/10】 ③先天性血液凝固因子障害治療研究事業【補助率 1/2】									
実施方法	補助									
予算額・執行額(単位：百万円)	予算の状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		当初予算	44,000	44,000	811	794	769			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	44,000	44,000	811	794	769				
	執行額	44,000	44,000	811						
執行率(%)	100%	100%	100%							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 毎年度	
	前年度と同程度の医療受給者証交付者数(難病法の施行を踏まえ、平成27年度からはスモンのみとする。)	衛生行政報告例による難病法に基づく医療受給者証交付者数	成果実績	件	855,061	925,646	集計中	-	-	
			目標値	件	810,653	855,061	1,425	-	前年度と同程度	
			達成度	%	105	108	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	執行額	活動実績	百万円	44,000	44,000	811	794			
		当初見込み	百万円	44,000	44,000	811	794			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たりコスト	円/件	51,157	47,274	集計中	集計中		
	X:「執行額」 Y:「特定疾患治療研究事業及び先天性血液凝固因子障害等治療研究事業の受給者数」	計算式	/		44,000,000,000/860,092	44,000,000,000/930741	集計中	集計中		
平成28・29年度予算内訳(単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	厚生労働科学研究費補助金	794	769	対象者数の減						
	計	794	769							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること									
	施策	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	難病法の施行前に特定疾患治療研究事業で対象とされてきた特定疾患のうち、難病法に基づく特定医療費の支給対象となる指定難病以外の疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、その医療費も高額であるため、特定疾患治療研究事業を推進することにより引き続き当該患者の医療費の負担軽減を図るための経費を補助する。これにより、上位施策の推進に資する。										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
<b>事業所管部局による点検・改善</b>											
	項目	評価	評価に関する説明								
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	難病患者の医療費自己負担の軽減をする必要があり。国費を投入しなければ事業目的が達成できない。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国内の難病患者の医療費自己負担を軽減する事業であり、国が実施すべき事業である。								
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	難病の医療費に対する補助金であり、難病患者の医療費自己負担を軽減するという成果目標達成に向けて、優先度の高い事業である。								
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-									
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無									
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無									
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	所得に応じた自己負担額を設定しており、妥当である。								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	医療費適正化に努めており、単位当たりコストの水準は妥当である。								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-									
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付申請書を審査した上で、事業目的に沿った経費のみ交付決定している。								
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-										
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-										
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	毎年度、成果実績は成果目標の1.0~1.1倍で推移しており、見合ったものとなっている。								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-									
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね見合ったものになっている。								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-									
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-									
	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
	-	-	-								
点検・改善結果	点検結果	本事業については、治療研究の推進により5年後生存率の大幅な向上を果たした疾患があることなどから受給者数は増加しており、それらの患者の自己負担の助成を漏れなく実施している。									
	改善の方向性	難病患者の公費負担については、平成27年1月より、難病法に基づく負担金により給付されることとなったが、スモン等の患者への医療費助成については、引き続き本事業で実施していく。									

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現  
状  
通  
り

難病法の施行前に対象とされていた特定疾患のうち、難病法に基づく特定医療費の支給対象にならない、疾患の患者に対して医療費の負担軽減を図るために必要な経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現  
状  
通  
り

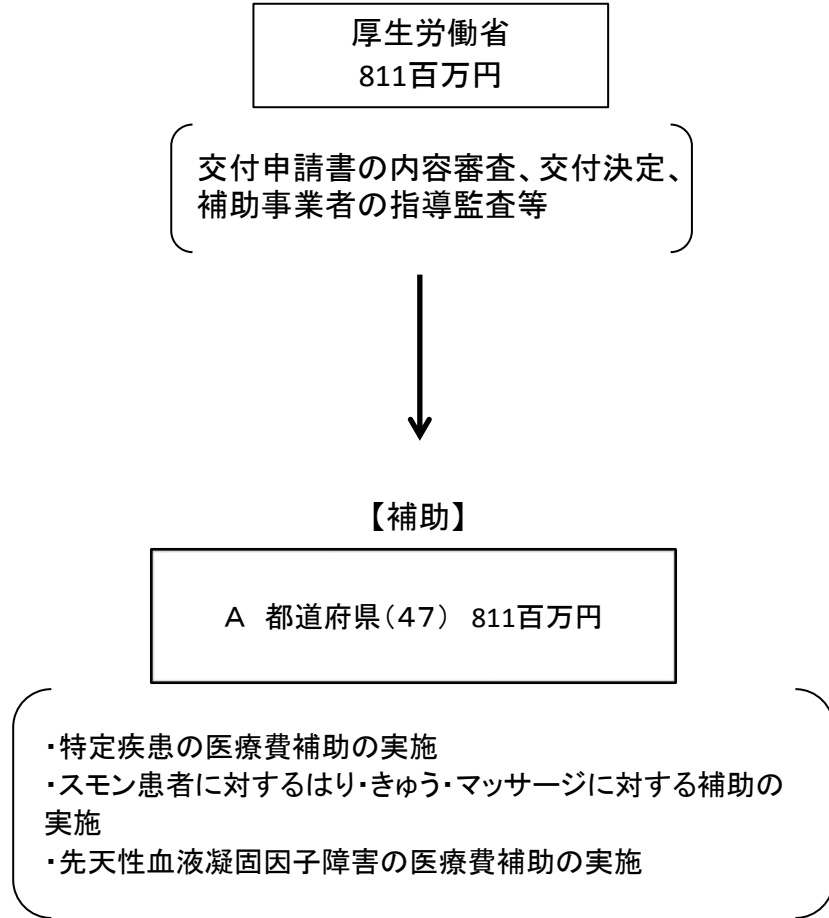
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	163	平成23年度	140	平成24年度	113		
平成25年度	130	平成26年度	141	平成27年度	148		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.北海道			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
医療費	難病患者の医療費等	78			
雑役務費	特定疾患協議会等開催に関する費用	0.1			
計		78.1	計		0

